

はまぎんホール仲間たち！



# 後天性脳損傷の子どもを支援するシンポジウム

小児高次脳機能障害の社会環境を考える



Illustration 「いのちはみーんなの宝物」 by Shiori Kato 15才 (アトムの子 兄弟児)

日時 2008年11月24日(月)  
開場 12:30 開演 13:00  
会場 はまぎんホール ヴィアマーレ  
(横浜市西区みなとみらい3-1-1)  
アクセス ■JR京浜東北根岸線・横浜市営地下鉄  
「桜木町駅」動く歩道利用5分  
■みなとみらい線 みなとみらい駅下車  
「クィーンズスクエア連絡口」  
「けやき通り口」より 徒歩7分  
※ 会場専用の駐車場はございません。  
参加費 無料 (資料代 500円)



主催 NPO法人 日本脳外傷友の会 <http://jtbia.jp/>  
共催 後天性脳損傷の子どもをもつ家族の会 アトムの会  
高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ

ヤマト福祉財団関東支部助成事業

<http://atom-kids.net/>

[http://www.geocities.jp/h\\_r\\_kids/](http://www.geocities.jp/h_r_kids/)



後援(予定): 文部科学省、国土交通省、厚生労働省、日本障害者協議会、神奈川県総合リハビリテーション事業団、千葉県身体障害者福祉事業団、横浜市総合リハビリテーション事業団、名古屋市総合リハビリテーション事業団  
認定 NPO 法人 パイロット日本基金、ファイザー株式会社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、NHK厚生文化事業団

# — プログラム —

## 第1部 「聞いて下さい 私たちの声を」

脳外傷友の会 コロポックル（北海道）

いわて脳外傷友の会 イーハトーヴ

ひろしま シェイキングキッズ

後天性脳損傷の子どもをもつ家族の会 アトムの子

高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会 ハイリハキッズ



## 第2部 パネルディスカッション 「小児高次脳機能障害の支援」

パネリスト

栗原 まな：神奈川リハビリテーション病院 小児科医

馬屋原 誠司：広島県・広島市 スクールカウンセラー

渥美 義賢：国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター長

太田 令子：千葉リハビリテーションセンター（千葉県高次脳機能障害支援コーディネーター）

司 会

中島 恵子：帝京平成大学大学院 教授（神経心理学）

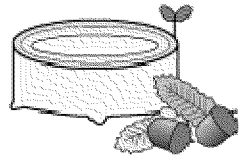
### ◆ どなたも参加できます

全国の当事者のお子様とご家族、医療・教育・福祉・行政の各関係者、後天性脳損傷後遺症を負った子ども達の教育・社会参加に関心がある方のご参加をお待ちしています。

### ◆ 託児あります

ボランティアの学生さんがお子様をお預かりいたします。

希望者は事前に問い合わせをお願いします。（先着30人）



### ◆ 申込受付・問合せ \*\*\* 担当：アトムの子 代表 狩野雅之 \*\*\*

〈FAX〉045-811-8951 〈E-mail〉atom2001@mbh.nifty.com 〈当日連絡先〉090-2567-7213

※ 当日の直接来場も受け付けますが、なるべく事前に申し込みをお願いします。

### ----- 参加申込書 -----

① 参加者名 \_\_\_\_\_ 同行のお子様（年齢も） \_\_\_\_\_

② 居住地 都道府県 \_\_\_\_\_ 区市町村 \_\_\_\_\_

③ 連絡先 電話 \_\_\_\_\_ （自宅・職場・携帯）

（職場の場合）名称・所属 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

④ 区分 1. 患児（18才未満）家族 2. 成人患者家族 3. 患者本人 4. 行政関係 5. 福祉関係  
6. 教育関係 〈 a 普通級教員 b 個別支援級 c 特別支援学校 d その他（ ） 〉  
7. 医療関係 職種：（ ） 8. その他（ ）

⑤ 資料希望部数 \_\_\_\_\_ 部

※ 要望・配慮等がありましたらご記入願います。（託児・手話通訳など）